

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

日本は世界の変化についていけなかった 野口 悠紀雄 (早稲田大学ファイナンス総合研究所 顧問)

1. 世界知的所有権機関 (WIPO) が今年 7 月に発表した「世界 141 ケ国・地域の技術革新力」に関する調査報告書によると、日本は 25 位だった。1 位はスイスで、スウェーデン、シンガポールがそれに続く。一方、スイス・ローザンヌの国際経営開発研究所 (IMO) が作成する「世界競争力ランキング」がある。今年 5 月に公表された 2012 年版では、日本は 27 位となった。1 位は香港で、2 位アメリカ、3 位スイスと続く。このランキングが初めて作られたのは 1989 年で、そのとき、日本は首位で、アメリカは 3 位だった。
2. 日本人の多くは、これらのランキングに違和感を覚えるだろう。ことに、「香港、シンガポール、北欧諸国が日本より上」というのは、日本人の感覚では、なかなか理解できない。日本人の評価の基礎に、「自動車産業、製鉄業、高速鉄道などがない国は、産業国家と言えない。一流の産業国とは、それに加え飛行機や宇宙ロケットを生産できる国」との考えがあるからだ。この基準に照らして言えばシンガポールや香港は論外である。
3. しかし、実は、自動車産業や製鉄業があることが問題なのだ。ランキングの上位には、このどちらも持たない国が多い。1990 年代に世界は大きく変化した。技術の性格が変わり、IT が重要になった。製鉄や電機製造は、新興国でもできる活動になった。日本の製造業の経営者は「技術は強いが、円高や法人税が問題」と言っていたが、この大変化に日本はついていけなかった。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2012 年 11 月 3 日号)

海外事情

世界の縫製工場 (バングラデシュ)

1. バングラデシュの面積は約 14 万 7000 km²。北海道の約 1.9 倍という小さな国土に、約 1 億 4800 万人が住む世界最貧国の 1 つだ。この国が今、「世界の縫製工場」としてファッション業界で存在感を高めている。衣料品の輸出量で、バングラデシュは中国に次ぐ世界 2 位。輸出総量に占める衣料品の割合は実に 82%だ。
2. バングラデシュの魅力は、何よりもコストの安さだ。最低賃金は中国の 3 分の 1 以下で、電気などのインフラコストも低い。国内には 5000~6000 の縫製工場が建ち、就労人口は周辺産業を含めると 700 万~800 万人に達する。雑居ビルの 1 フロアから、数万人の工員を抱える企業グループまでである。

(参考:「日経ビジネス」: 2012 年 11 月 5 日号)

経営者のための社会学

33 年前の水準に戻った

1. サラリーマンの 1 回当たりの昼食代が 2012 年は 510 円となり、33 年前 (1979 年) の 565 円とほぼ同水準の 500 円台に戻ったことがわかった。1992 年に 746 円とピークをつけたが、その後 3 分の 2 近くまで減ったことになる。
2. 1 回当たりの飲み代も 2012 年は 2860 円で、ピーク時の 2001 年の 6160 円から半減した。飲みに行く回数は、1999 年 1 カ月 6.0 回だったのが 2012 年 2.4 回まで低下。家飲みが定着した。また、1 カ月の小遣い総額は、2012 年 3 万 9756 円で、ピーク時の 1990 年の 7 万 7725 円からこちらも 30 年前と同水準に戻った。

(参考:「週刊東洋経済」2012 年 10 月 20 日号)

古典に学ぶ

人間の根本には「愛」と「善」がある

「いずれの教えにしろ、人間の根本性について説くところは愛であり善である」

(解説) 誰の、どのような教えであっても、人間の根本を成すのは「愛」と「善」である、と共通して説いている。

(参考: 渋澤健「渋沢栄一 100 の訓言」: 日経ビジネス人文庫)